

アクリルフォーム両面粘着テープ	DD-213-01
IVY 9080	2016.4.19

製品安全データシート

【1】 製造者情報

会社名； 大協技研工業株式会社
住所； 神奈川県座間市栗原920-3
電話番号； 046-252-9311
FAX番号； 046-252-9322
作成日； 2016年4月19日

【2】 整理番号 DD - 213

【3】 製品名（化学名、商品名 等）

アクリルフォーム両面粘着テープ IVY 9080CGP

【4】 物質の特定（登録、規制 等）

①単一製品・混合物の区別； 混合物

②化学品； —

③成分及び含有量；

感圧接着剤： アクリルフォーム 72(wt%)

(アクリル酸アルキルエステル・アクリル酸共重合体)

ガラスとシリカのフィラーを含む

カーボン 2

アクリル酸エステル三元共重合体 12

剥離ライナー： ポリエチレンテレフタレート (PET) フィルム 14

④化学式又は構造式； —

⑤化審法 既存化学物質登録No.； 該当せず

⑥化管法 指定化学物質； 非含有

⑦安衛法官報公示整理番号； 対象外

⑧CAS No.；

アクリル酸共重合体 9017-68-9

カーボン 1333-86-4

アクリル酸エステル三元共重合体 35239-19-1

ポリエチレンテレフタレート (PET) 25038-59-9

⑨国連分類及び国連番号； —

アクリルフォーム両面粘着テープ	DD-213-01
IVY 9080	2016.4.19

【5】 危険有害性の分類

- ①分類の名称； 分類基準に該当しない。
 - ②危険性； 特になし
 - ③有害性； 認められない。
 - ④環境影響； データなし。
-

【6】 応急措置

- ①目に入った場合； 通常は可能性なし。製品が目に触れた場合は、清浄な流水で洗眼し、刺激が感じられたら眼科医の診断を受ける。
 - ②皮膚に付着した場合； 直接皮膚に触れると痒み等を生じる場合がある。
製品を素手で扱った後は石鹼水で手を洗う。痒みが生じた場合は医師の診察を受ける。
 - ③吸入した場合； 切断作業による粉塵を想定する以外、吸入の可能性なし。
粉塵、或いは高温下で生じる臭気を吸入した場合は呼吸器官に刺激を与える。
 - ④飲み込んだ場合； 通常は可能性なし。
-

【7】 火災時の措置

- 危険性； 下記の条件下で危険の可能性がります。
高温下で生じる臭気を吸入した場合、頭痛、嘔吐感、呼吸困難となることがあります。
 - 消火方法； 消火作業者は、適正な防護服を着用すること。
高温下で生じる臭気の吸引に注意すること。
 - 消火剤； 水、水噴霧、二酸化炭素消火器、粉末消火器、泡消火器、等。
-

【8】 漏出時の措置

該当しない。(テープ状の固体のため漏出しない。)

【9】 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い； 通常の手扱いに於いては、専用の保護具を必要としない。長時間、或いは繰返しの皮膚への接触は避ける。素手で取り扱った場合は、石鹼水で手を洗う。
 - 保管； 換気された冷暗所で保管する。
-

アクリルフォーム両面粘着テープ	DD-213-01
IVY 9080	2016.4.19

【10】 暴露防止装置

管理濃度； 設定されていない。
許容濃度； 日本産業衛生学会（ 年度版）： 規定されていない。
設備対策； ACIGH（ 年度版）： 規定されていない。
保護具 呼吸用保護具； 発煙が無い限り、通常の使用では特に必要なし。
保護眼鏡； 通常の使用では特に必要なし。
保護手袋； 工業的用途では着用が望ましい。
保護衣； 通常の使用では特に必要なし。

【11】 物理／化学的性質

外観等； アクリルフォームを基材とする両面粘着テープ
沸点； — 蒸気圧； — 揮発性； —
融点； — 比重； 約 1.0 初留点； —
臭い； 僅かにあり 溶解度； — その他； —

【12】 危険性情報 (安定性・反応性)

引火点； — 発火点； — 爆発限界 上限：— 下限：—
可燃性；あり
発火性（自然発火性、水との反応性）；特になし。
酸化性；なし
自己反応性・爆発性；なし
安定性・反応性；一般的な貯蔵・取り扱いにおいて安定である。

【13】 有害性情報 (人についての症例、疫学的情報を含む)

皮膚腐食性；特になし
刺激性（皮膚、目）；特になし
感作性；知見なし
急性毒性（50%致死量等を含む）；知見なし
亜急性毒性；知見なし
慢性毒性；知見なし
がん原性；知見なし
変異原性（微生物、染色体異常）；知見なし
生殖毒性；知見なし
催奇形性；知見なし
その他（水と反応して有毒なガスを発生する等を含む）；知見なし

アクリルフォーム両面粘着テープ	DD-213-01
IVY 9080	2016.4.19

【14】環境影響情報

移動性： 知見なし
 残留性／分解性： 知見なし
 生体蓄積性： 知見なし
 生態毒性： 知見なし
 有害重金属： 鉛、カドミウム、水銀、六価クロム、など使用していない。
 オゾン層破壊物質： 使用していない。

【15】廃棄上の注意

『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』に従い、公認の産業廃棄物処理業者または自治体に処理を委託する。

【16】輸送上の注意

転倒、落下、損傷、汚れ等がないように積み込み、荷崩れの防止を行う。

【17】適用法令

消防法 指定可燃物（合成樹脂類）

※記載内容の取り扱い

この危険有害性情報は、工業的用途について一般的な取扱い等を前提に作成したものです。従って、実際の取扱い等においては、ここに記載した危険有害性情報を参考にし、十分な注意の上取扱って下さい。

以上